

医療事故情報収集等事業 第 2 2 回報告書のご案内

1. 報告の現況

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：平成 22 年 4 月～6 月に報告された事例)

表 1 報告件数及び報告医療機関数

		平成 22 年			合計
		4 月	5 月	6 月	
報告義務 対象医療 機関	報告件数	171	130	190	491
	報告医療 機関数	143			
参加登録 申請医療 機関	報告件数	60	39	53	152
	報告医療 機関数	47			
報告義務対象医 療機関数		272	272	272	-
参加登録申請医 療機関数		550	551	554	-

第 22 回報告書 26～28 頁参照

表 2 事故の概要

事故の概要	平成 22 年 4 月～6 月	
	件数	%
薬剤	32	6.5
輸血	4	0.8
治療・処置	104	21.2
医療機器等	18	3.7
ドレーン、チューブ	34	6.9
検査	21	4.3
療養上の世話	214	43.6
その他	64	13.0
合計	491	100.0

第 22 回報告書 34 頁参照

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：平成 22 年 4 月～6 月に発生した事例)

- 参加医療機関数 987 施設 (事例情報報告医療機関数 540 施設を含む)
- 報告件数 (第 22 回報告書 50～56 頁参照)
 - ①発生件数情報報告件数：170,664 件 (報告医療機関数 427 施設)
 - ②事例情報報告件数：6,648 件 (報告医療機関数 106 施設)

2. 医療事故情報等分析作業の現況

従来「共有すべき医療事故情報」として取り上げた事例に、さらに分析を加え、「個別のテーマの検討状況」の項目で取り上げています。今回の個別のテーマは下記の通りです。

- (1) 病理に関連した医療事故 【第 22 回報告書 78～94 頁参照】
- (2) MRI の高周波電流ループによる熱傷 【第 22 回報告書 95～100 頁参照】
- (3) 救急カートに準備された薬剤の取り間違い 【第 22 回報告書 101～104 頁参照】
- (4) 持参薬の同系統代替薬を処方した際の医療事故 【第 22 回報告書 105～108 頁参照】
- (5) 経過表画面の薬剤量を見間違い、ヘパリンを過量投与した医療事故 【第 22 回報告書 109～111 頁参照】

3. 再発・類似事例の発生状況 (第 22 回報告書 113～129 頁参照)

これまで個別テーマや「共有すべき医療事故情報」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が発生したものを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例は下記の通りです。

- (1) 「ウォータートラップの不完全な接続」 (医療安全情報 No. 32) 【第 22 回報告書 114～117 頁参照】
- (2) 「未滅菌の医療材料の使用」 (医療安全情報 No. 19) 【第 22 回報告書 118～121 頁参照】
- (3) 「アレルギーの既往がわかっている薬剤の投与」 (医療安全情報 No. 30) 【第 22 回報告書 122～124 頁参照】
- (4) 共有すべき医療事故情報「酸素ボンベ残量の管理に関連した事例」 (第 17 回報告書) 【第 22 回報告書 125～127 頁参照】
- (5) 共有すべき医療事故情報「口頭での情報伝達の間違いが生じた事例」 (第 13 回報告書) 【第 22 回報告書 128～129 頁参照】

*詳細につきましては、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp>) をご覧ください。